

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2024年9月30日時点)

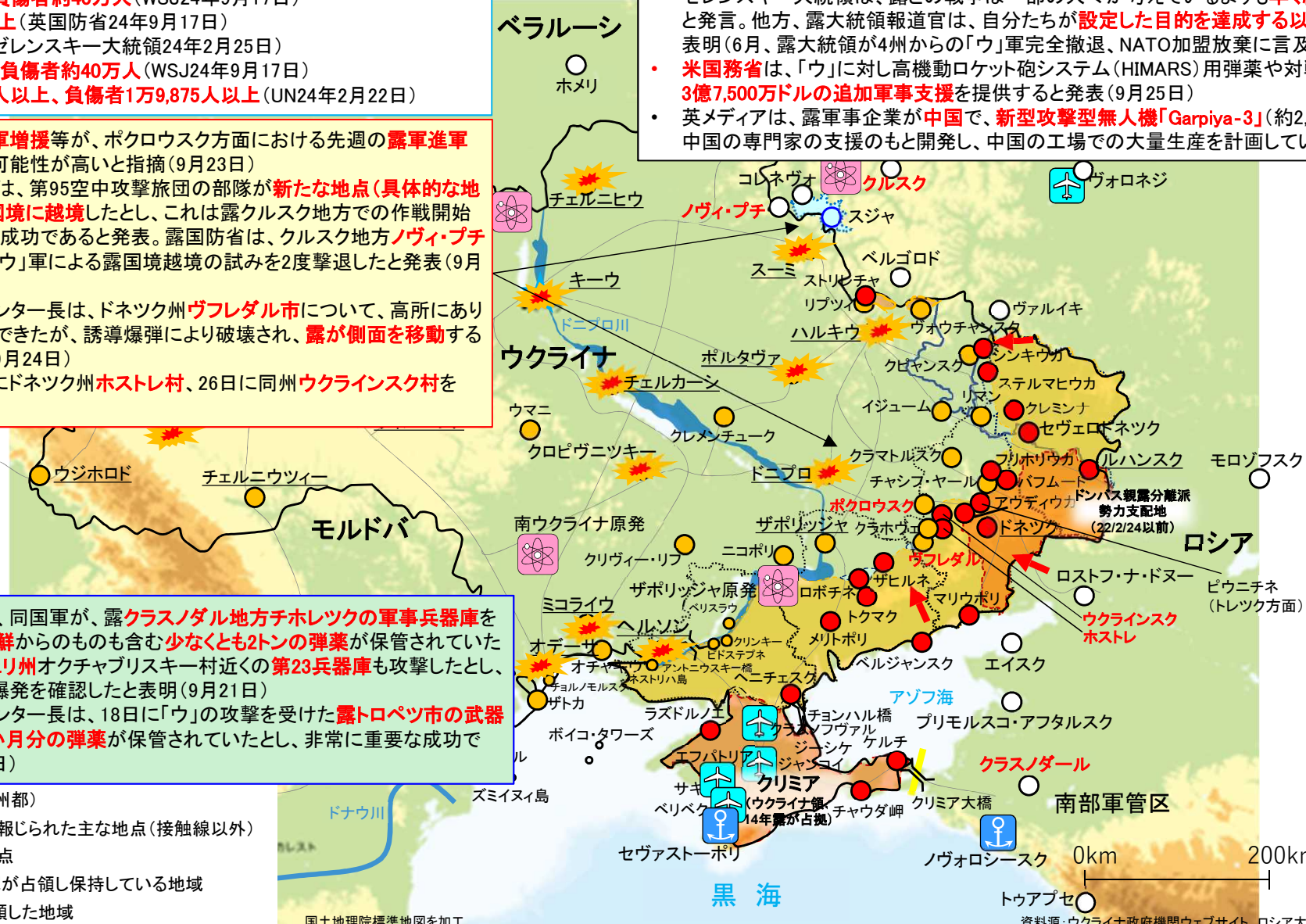
➤ **ウクライナ軍が露西部クルスク州への越境攻撃を実施する一方、露軍は、同攻撃に対応しつつも、ウクライナ東部への攻勢及びウクライナ全土に対するミサイル・無人機攻撃を継続している模様**

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: **死者約18万人**(ゼレンスキー大統領24年2月25日)
: **死者約20万人、負傷者約40万人**(WSJ24年9月17日)
: **死傷者61万人以上**(英国防省24年9月17日)
「ウ」軍: **死者3.1万人**(ゼレンスキー大統領24年2月25日)
: **死者約8万人、負傷者約40万人**(WSJ24年9月17日)
「ウ」市民: **死者10,582人以上、負傷者1万9,875人以上**(UN24年2月22日)

- 英国防省は、「ウ」軍増援等が、ポクロフスク方面における先週の露軍進軍の減速に貢献した可能性が高いと指摘(9月23日)
- 「ウ」空中攻撃部隊は、第95空中攻撃旅団の部隊が**新たな地点(具体的な地点は未発表)で露国境に越境**したとし、これは露クルスク地方での作戦開始以来、2度目の作戦成功であると発表。露国防省は、クルスク地方**ノヴィ・ブチ村**方面で発生した「ウ」軍による露国境越境の試みを2度撃退したと発表(9月23日)
- 「ウ」偽情報対策センター長は、ドネツク州**ヴフレダル市**について、高所にあり以前は容易に防衛できたが、誘導爆弾により破壊され、**露が側面を移動**することに成功と発言(9月24日)
- 露国防省は、25日にドネツク州**ホストレ村**、26日に同州**ウクラインスク村**を解放したと発表

- プーチン大統領は、23年に合計で**約14万機の無人機**が軍に供給されたところ、24年は同生産が**約10倍に増加**する予定であると発言(9月19日)
- ゼレンスキー大統領は、露との戦争は一部の人が考えているよりも**早く終結する可能性がある**と発言。他方、露大統領報道官は、自分たちが**設定した目的を達成する以外の選択肢はない**と表明(6月、露大統領が4州からの「ウ」軍完全撤退、NATO加盟放棄に言及)(9月23日、24日)
- 米務省は、「ウ」に対し高機動ロケット砲システム(HIMARS)用弾薬や対戦車ミサイル等を含む**3億7,500万ドルの追加軍事支援**を提供すると発表(9月25日)
- 英メディアは、露軍事企業が**中国で、新型攻撃型無人機「Garpiya-3」**(約2,000km飛行可能)を中国の専門家の支援のもと開発し、中国の工場での大量生産を計画していると報道(9月25日)



- 「ウ」軍情報総局は、同国軍が、露**クラスノダール地方チホレツクの軍事兵器庫**を破壊したとし、**北朝鮮**からのものも含む**少なくとも2トンの弾薬**が保管されていたと発表。また、**トヴェリ州**オクチャプリスキー村近くの**第23兵器庫**も攻撃したとし、両兵器庫で火災と爆発を確認したと表明(9月21日)
- 「ウ」偽情報対策センター長は、18日に「ウ」の攻撃を受けた**露トロペツ市の武器庫**について、**2~4か月分の弾薬**が保管されていたとし、非常に重要な成功であると表明(9月23日)